

【coagari 学習会】「古材×ごみが生まれ変わる！？建築を学んだ先輩とジェンガづくり」を開催しました！

令和8年1月29日（木）、「古材×ごみが生まれ変わる！？建築を学んだ先輩とジェンガづくり」と題し、建築学科の学びを楽しみながら体験する講座を、ひと・まちテラスで開催しました。

加子母地域で「地域おこし協力隊」として活動する、建築学科出身の原田佳苗さん、山本明斗さんが講師を務め、高校1～2年生の6人が参加しました。

今回は、本来なら捨てられてしまう木材とペットボトルキャップを使って、異素材を組み合わせたジェンガづくりに挑戦しました。はじめに、長い木材を同じ長さに測りのこぎりで切って、ブロックを作製。参加者は次第にコツをつかみ、木の感触を楽しみながら着々と作業を進めていました。

ペットボトルキャップの加工では、青や緑、赤などのカラフルなキャップを細かく刻んで、型に入れてホットプレートで加熱しました。マーブル模様にはじめたところで、上からジェンガのブロックを押し当て、1面を装飾しました。

異素材を組み合わせたブロックは、一つ一つ色合いが違って、廃材とは思えないくらいおしゃれなジェンガになりました。装飾を施したことによりブロックの面に凹凸ができ、手作りならではの面白さがあるゲーム展開が期待できます！

今回作製したジェンガは、令和8年2月18日（水）から23日（月）まで、ひと・まちテラスに展示し、来館者に自由に遊んでもらいます。

参加者からは「普段できない体験をして、建築への興味がより増した」、「建築関係の大学についてたくさん話を聞くことができた」などの感想がありました。

